【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成18年2月16日(2006.2.16)

【公開番号】特開2005-108113(P2005-108113A)
【公開日】平成17年4月21日(2005.4.21)
【年通号数】公開・登録公報2005-016
【出願番号】特願2003-343691(P2003-343691)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｆ　3/12　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ　3/12　L
Ｇ０６Ｆ　3/12　C

【手続補正書】
【提出日】平成17年12月27日(2005.12.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
画像のラスターイメージデータを生成する画像生成制御手段と、
用紙媒体上に画像形成する画像形成手段と、
前記画像形成手段にラスターイメージデータを送出する画像処理制御手段と、
前記画像処理制御手段と前記画像生成制御手段との間のデータ伝送のための少なくとも２つの通信路とを備えた画像形成システムであって、
前記画像生成制御手段により生成されたラスターイメージデータを前記画像処理制御手段に送出する際に、当該データの種類を取得する取得手段と、
前記取得手段により取得されたデータの種類に応じて、前記少なくとも２つの通信路の１つを選択し、当該選択した通信路から前記生成したラスターイメージデータを送出する送出手段とを備え、
前記少なくとも２つの通信路は、少なくとも１つが、コマンドまたは互いの状態を知らせるステータスの送受信を行う双方向のコマンド通信路であり、別の少なくとも１つが、生成されたラスターイメージデータを送信する画像データ通信路であることを特徴とする画像形成システム。
【請求項２】
請求項１において、
前記送出手段は、前記取得手段により取得されたデータの種類が大容量画像データである場合に、該大容量画像データを、前記画像データ通信路を介して前記画像処理制御手段へ送出し、小容量画像データである場合に、該小容量画像データを、前記コマンド通信路を介して前記画像処理制御手段へ送出することを特徴とする画像形成システム。
【請求項３】
請求項２において、
前記大容量画像データは、カラー多値画像データであり
前記小容量画像データは、単色２値画像データである
ことを特徴とする画像形成システム。
【請求項４】
請求項２において、

前記大容量画像データは、非圧縮のラスターイメージデータであり
前記小容量画像データは、圧縮された画像データである
ことを特徴とする画像形成システム。
【請求項５】
画像のビットマップイメージを生成する画像生成制御手段と、
用紙媒体上に画像形成する画像形成手段と、
前記画像形成手段にラスターイメージデータを送出する画像処理制御手段と、
前記画像処理制御手段と前記画像生成制御手段との間の少なくとも２つのデータおよび／またはコマンド通信路とを備えた画像形成システムであって、
前記少なくとも２つのデータおよび／またはコマンド通信路のうちの少なくともどちらか一方の通信路は、３つ以上の機器を同時に接続可能な通信路を有し、前記画像生成制御手段は、前記３つ以上の機器を同時に接続可能な通信路を介して前記画像処理制御手段とは別の画像処理制御手段を少なくとも１セット以上接続する
ことを特徴とする画像形成システム。
【請求項６】
画像のラスターイメージデータを生成する画像生成制御手段と、用紙媒体上に画像形成する画像形成手段と、前記画像形成手段にラスターイメージデータを送出する画像処理制御手段と、前記画像処理制御手段と前記画像生成制御手段との間のデータ伝送のための少なくとも２つの通信路とを備えた画像形成システムの制御方法であって、
前記画像生成制御手段により生成されたラスターイメージデータを前記画像処理制御手段に送出する際に、当該データの種類を取得するステップと、
前記取得されたデータの種類に応じて、前記少なくとも２つの通信路の１つを選択し、当該選択した通信路から前記生成したラスターイメージデータを送出するステップとを備え、
前記少なくとも２つの通信路は、少なくとも１つが、コマンドまたは互いの状態を知らせるステータスの送受信を行う双方向のコマンド通信路であり、別の少なくとも１つが、生成されたラスターイメージデータを送信する画像データ通信路であることを特徴とする画像形成システムの制御方法。
【請求項７】
請求項６において、
前記取得されたデータの種類が大容量画像データである場合は、当該大容量画像データを、前記画像データ通信路を介して前記画像処理制御手段へ送出し、小容量画像データである場合は、当該小容量画像データを、前記コマンド通信路を介して前記画像処理制御手段へ送出することを特徴とする画像形成システムの制御方法。
【請求項８】
請求項７において、
前記大容量画像データは、カラー多値画像データであり
前記小容量画像データは、単色２値画像データである
ことを特徴とする画像形成システムの制御方法。
【請求項９】
請求項７において、
前記大容量画像データは、非圧縮のラスターイメージデータであり
前記小容量画像データは、圧縮された画像データである
ことを特徴とする画像形成システムの制御方法。
【請求項１０】
画像のビットマップイメージを生成する画像生成制御手段と、用紙媒体上に画像形成する画像形成手段と、前記画像形成手段にラスターイメージデータを送出する画像処理制御手段と、前記画像処理制御手段と前記画像生成制御手段との間の少なくとも２つのデータおよび／またはコマンド通信路とを備えた画像形成システムの制御方法であって、
前記少なくとも２つのデータおよび／またはコマンド通信路のうちの少なくともどちら

か一方の通信路として、３つ以上の機器を同時に接続可能な通信路を使用し、
前記３つ以上の機器を同時に接続可能な通信路によって、前記画像処理制御手段と当該画像処理制御手段とは別の少なくとも１セット以上の画像処理制御手段とを接続する
ことを特徴とする画像形成システムの制御方法。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
本発明は、画像のラスターイメージデータを生成する画像生成制御手段と、用紙媒体上に画像形成する画像形成手段と、前記画像形成手段にラスターイメージデータを送出する画像処理制御手段と、前記画像処理制御手段と前記画像生成制御手段との間のデータ伝送のための少なくとも２つの通信路とを備えた画像形成システムであって、前記画像生成制御手段により生成されたラスターイメージデータを前記画像処理制御手段に送出する際に、当該データの種類を取得する取得手段と、前記取得手段により取得されたデータの種類に応じて、前記少なくとも２つの通信路の１つを選択し、当該選択した通信路から前記生成したラスターイメージデータを送出する送出手段とを備え、前記少なくとも２つの通信路は、少なくとも１つが、コマンドまたは互いの状態を知らせるステータスの送受信を行う双方向のコマンド通信路であり、別の少なくとも１つが、生成されたラスターイメージデータを送信する画像データ通信路であることを特徴とする。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
ここで、前記送出手段は、前記取得手段により取得されたデータの種類が大容量画像データである場合に、該大容量画像データを、前記画像データ通信路を介して前記画像処理制御手段へ送出し、小容量画像データである場合に、該小容量画像データを、前記コマンド通信路を介して前記画像処理制御手段へ送出することができる。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１２】
また、前記大容量画像データは、カラー多値画像データであり、前記小容量画像データは、単色２値画像データであるとすることができる。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１３】
さらに、前記大容量画像データは、非圧縮のラスターイメージデータであり、前記小容量画像データは、圧縮された画像データであるとすることができる。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４

【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１４】
　また、本発明は、画像のビットマップイメージを生成する画像生成制御手段と、用紙媒体上に画像形成する画像形成手段と、前記画像形成手段にラスターイメージデータを送出する画像処理制御手段と、前記画像処理制御手段と前記画像生成制御手段との間の少なくとも２つのデータおよび／またはコマンド通信路とを備えた画像形成システムであって、前記少なくとも２つのデータおよび／またはコマンド通信路のうちの少なくともどちらか一方の通信路は、３つ以上の機器を同時に接続可能な通信路を有し、前記画像生成制御手段は、前記３つ以上の機器を同時に接続可能な通信路を介して前記画像処理制御手段とは別の画像処理制御手段を少なくとも１セット以上接続することを特徴とする。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】削除
【補正の内容】